

## 第2部

---

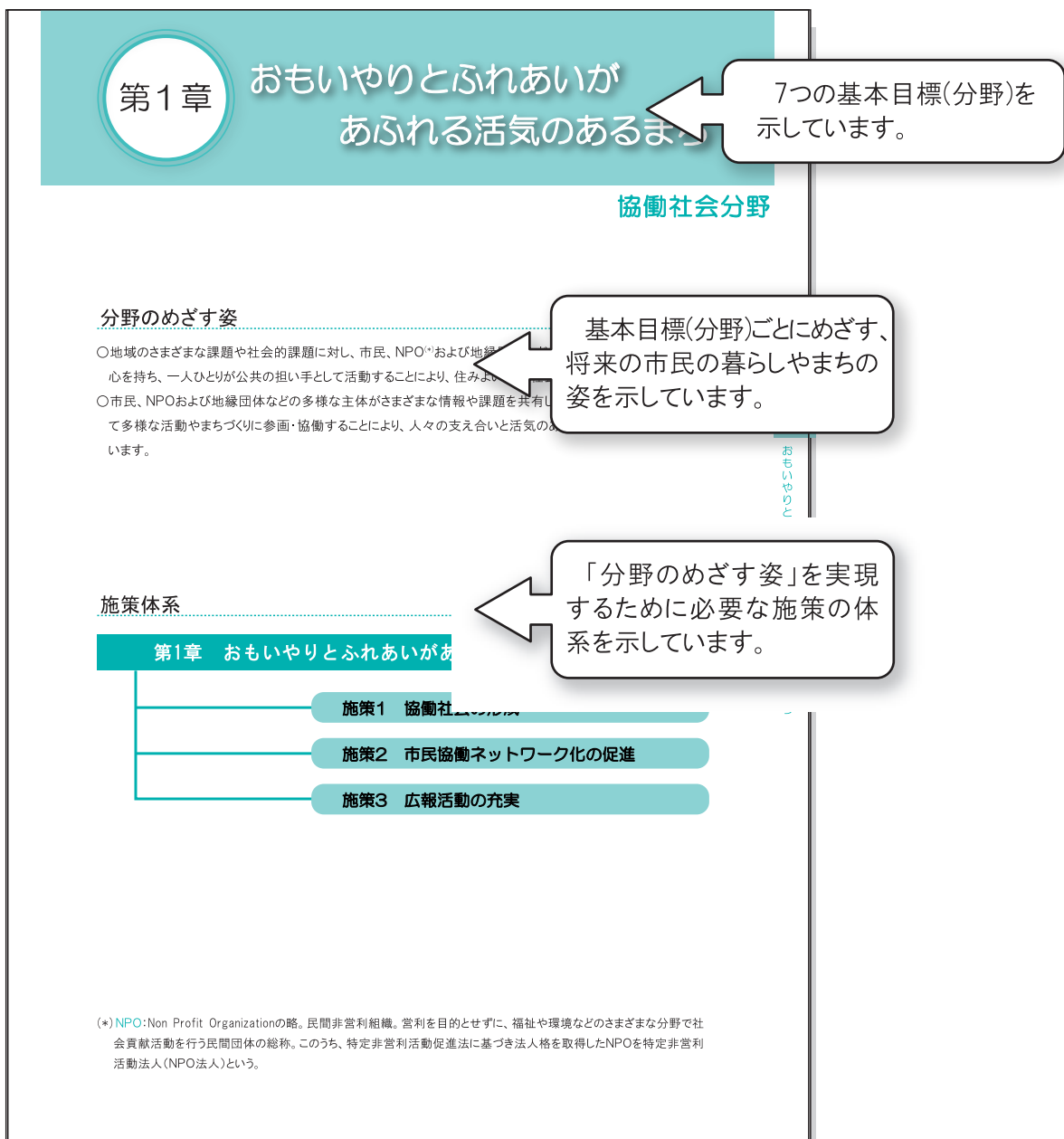
### I 基本計画

# 基本計画の見方

基本計画では、基本構想に掲げた7つの基本目標(分野)を実現するため、42の施策を定めています。また、それぞれの施策にはめざす姿や、施策の展開方向などを示しています。

※施策とは

基本目標を実現するための方策であり、この「施策」を推進するための手段として、具体的な事業(事務事業)などを実施していきます。



「施策のめざす姿」の実現に向け、市役所が果たしていく役割を示しています。

「施策のめざす姿」の実現に向け、市民、事業者などそれぞれの活動主体の役割を示しています。

市役所の役割

○市民参画意識の向上を図り、市民、NPOおよび地縁団体などの市政への参画を進めるため、積極的にそれぞれの活動に

市民などの役割

○まちづくりの主役としての自覚と市政への関心を持ち、社会参加や生きがいの場として、ボランティア、NPOおよび地縁団体に参加します。

市役所や地域の取り、地域のさまざまな

ネット回答など、寄与するような、提言などをします。

第1章 協働社会分野 おもいやりとふれあいがあふれる活気のあるまち

**施策1 協働社会の形成**

現状と課題

○地方分権改革が進展するなか、従来の自治体主体のまちづくりから、市民、NPOなどのさまざまな主体による協働のまちづくりが必要とされています。今後、本市でも、協働のまちづくりを推進していくために、新しい公共<sup>(\*)1)</sup>の担い手の育成や市民への情報発信が求められています。

○NPOなどの活動が活発化し、市政に参画する市民も増えつつありますが、一方、自治会へ加入する市民が減少するなど、地域でのつながりの希薄化が懸念されています。

施策を取り巻く本市の状況と課題を示しています。

施策のめざす姿

○市民、NPOおよび地縁団体などが多様な活動に積極的に参加するとともに、お互いをおもいやり、人と人がふれあう住みよい地域社会を形成しています。

施策がめざす市民の暮らしやまちの姿を示しています。

成果指標

| 指標名                                      | 単位   | 現状値  | 目標値<br>(平成28年度) | 説明         |
|--|------|------|-----------------|------------|
| 「市のまちづくりや公共サービスを市民が協働して取り組んでいる」と思う市民の割合  | %    | 62.8 | ↗               | 住民意識調査     |
| 「市民参画の機会が充実し、市政に対して意見を述べることができる」と思う市民の割合 | %    | 49.7 | ↗               | 住民意識調査     |
| NPO法人認証数                                 | 団体   | 10   | 15              |            |
| 市民公益活動団体 <sup>(*)2)</sup> 登録数            | 団体   | 52   | 60              |            |
| パブリックコメント <sup>(*)3)</sup> 数             | 件/事業 | 4.7  | 10.0            | コメント件数÷事業数 |
| 自治会加入率                                   |      |      |                 |            |

「施策のめざす姿」の達成状況を示す指標です。平成22年度末現在の状況と、5年後の目標値を示しています。

**※成果指標内の住民意識調査とは**

総合計画策定にあたり、広く住民の意見、提案などを聞き取り計画に反映するため、16歳以上の住民3,000人を無作為抽出し、平成22年4月に実施した郵送による無記名調査です。その中で、施策ごとの現状について、施策の内容が達成されているかとの質問に対し、「そう思う」や「どちらかと言えばそう思う」、「ふつう」と回答した構成比の合計値を「施策のめざす姿」の達成状況を示す指標とし、5年後の住民意識調査の結果と比較することを予定しています。

